部課名	環境資源部環境政策課
課の使命	・「みんなで将来に受け継ぐ水とみどり豊かな　まちだ」を実現するため、市民・事業者・町田市それぞれの環境に関する取り組みを推進します。 ・部内各課が円滑に業務を遂行できるよう、環境資源部のまとめ役として、様々な情報を共有し、各課の調整を行います。

実行計画（年度目標）

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
1	個別計画	第3次町田市環境マスタープランの推進	①町田市の環境に関する取り組みの普及・啓発のため、エコキャラクターハスのんのインスタグラム・X（旧ツイッター）を活用し、画像等でより多くの方に環境情報を発信します。 ②第3次町田市環境マスタープランの推進のため、庁内の環境管理委員会での進捗点検を行います。また、環境審議会への進捗報告を行い、その結果を環境白書で公表します。 ③第3次町田市環境マスタープランでは、温室効果ガスを2030年度までに2013年度比で33%削減するとしているため、国の「地球温暖化対策計画」改定を踏まえて、取組の追加など、計画の一部改定を行うことで、計画の強化を図ります。	①インスタグラム・X（旧ツイッター）の合計投稿回数及び新規フォロワー数 ②環境管理委員会における進捗点検及び審議会への進捗報告の実施 ③環境マスタープランの一部改定	①年144回以上及び145人 ②実施 ③一部改定								
2	個別計画	第2次町田市一般廃棄物資源化基本計画アクションプラン及び町田市食品ロス削減推進計画の進捗管理	①廃棄物関連課と協働で第2次町田市一般廃棄物資源化基本計画アクションプラン及び町田市食品ロス削減推進計画を推進するため、年度事業計画の進捗状況を管理します。 ②総ごみ量の削減・資源化に向け、ごみ量の推移や組成調査のデータ分析を行います。また、次期アクションプランの策定に向けて、毎年度実施している家庭系ごみの組成調査に加え、事業系ごみの組成調査を実施します。	①年度事業計画の進捗管理の実施 ②調査及び研究の実施	①実施 ②実施								
3	個別計画	容器包装プラスチックの市全域での収集に向けた取り組み	市全域での容器包装プラスチックの収集・資源化の開始に向けて、市民への周知方法や分別協力率向上のための啓発方法等を検討します。	周知・啓発方法等検討の実施	実施								

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
4	個別計画	家庭でのごみ減量の推進	①家庭から排出される燃やせるごみ量で、約40%を占める生ごみ削減のため生ごみ処理機の利用を促進します。 ②インスタグラム・X（旧ツイッター）、YouTube、ごみ情報紙ごみナクナーレ等の情報発信ツールを利用したごみ減量の啓発を行います。 ③ごみの減量・資源化に向けた新たな取り組みを実施します。	①-A 補助金申請による家庭用生ごみ処理機新規利用世帯数 ①-B ダンボールコンポスト講習会参加人数 ②-A インスタグラム・X（旧ツイッター）の情報発信回数及び新規フォロワー数 ②-B 広報紙発行回数 ③新規事業数	①-A 250世帯 ①-B 150人 ②-A 210回及び100人 ②-B 2回 ③2事業								
5	個別計画	事業系ごみの適正排出のための推進	①まちだ3R賞を事業者のメリットを踏まえて周知を行い、事業者の優良適正排出の取り組みのきっかけを創出します。 ②市内事業者の優良取り組み事例を、大規模事業所立入検査や、事業者向け講習会、少量排出事業者訪問等の際に共有し、自社の取り組みに活かせるよう周知します。	①3R賞表彰の新規事業者数 ②事業者への優良取り組み事例の周知件数	①2事業者 ②130件								
6	個別計画	非常時の対応能力の強化	①仮置場候補地の現地調査結果の反映及び都の被害想定の変更に対応するため、町田市災害廃棄物処理計画を改定し、災害対応訓練等、実践的な災害対応能力の強化に取組みます。 ②大規模災害時に想定される災害廃棄物の大量発生に備え、災害廃棄物の収集運搬及び処理に必要となる人員及び物資の提供が可能な事業者を調査し、協定を締結します。	①計画の改定及び取組の実施 ②協定締結	①改定及び取組の実施 ②締結								
7	事務事業見直し	町田市廃棄物減量再資源化等推進整備基金の運用方法の見直しによる基金の有効活用の推進	市全域での容器包装プラスチックの収集・資源化の開始に伴い、収集・処理費の増額が見込まれるため、より基金を有効的に活用できるよう基金の運用方法を見直します。見直した運用方法で、次年度予算の編成に取り組みます。	基金の運用方法の見直し	実施								

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
8	事務事業見直し	指定収集袋等取扱店の登録・変更・廃止届申請のオンライン化	指定収集袋等取扱店の登録・変更・廃止届申請について、現行業務の見直しとオンライン上の申請フォームの作成を行い、オンラインで届出ができるようにします。	オンライン化ツールの導入・運用	実施								
9	事務事業見直し	大規模事業所立入検査の効率化	62校ある小中学校の大規模事業所立入検査については、教育総務課が事業系廃棄物に係る処理業許可業者を契約し、廃棄物及び再利用に関する計画書をまとめていることから、教育総務課と連携し、効率的に小中学校の立入検査ができるよう、事業を見直します。	小中学校の大規模事業所立入検査方法の効率化の実施	実施								
10	－	業務連携の強化に向けた職員の能力向上	課内の各係が実施する事業内容について、主なものを課全体で共有し、業務の連携を強化するため、勉強会を開催します。	課内勉強会の回数	2回								

部課名	環境資源部環境政策課温暖化対策担当
課の使命	「ゼロカーボンシティまちだ」の実現のため、市民・事業者とともに、地球温暖化防止に関する取り組みを推進します。 また、率先した取り組み姿勢を示すべき行政として、町田市の公共施設における温室効果ガス排出削減に向けた取り組みを推進します。

実行計画（年度目標）

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
1	重点事業プラン	地球温暖化対策に関する取り組みの推進	①温室効果ガスの排出量の削減に先進的に取り組む民間事業者や自治体等への視察等を行うことにより、ゼロカーボンシティ宣言に関する取り組みの推進に向けた情報収集を行います。 ②市民・事業者・行政が連携・協力して、温室効果ガスの排出量の削減に取り組みます。 水素エネルギーの利活用支援として、家庭用燃料電池システムを設置した際の奨励金を交付します。 ③次世代エネルギー等の普及啓発のため、環境学習会を開催するなど、地球温暖化対策に関する普及啓発を推進していきます。 また、市内でも燃料電池自動車の水素充填が行えるよう、水素ステーションの開設のために、水素関連事業者へ働きかけを行います。	①視察等の参加回数 ②家庭用燃料電池システム設置奨励件数 ③イベントに参加した市民の数	①24回 ②180件 ③800人								
2	個別計画	事業者としての町田市の計画である「町田市環境配慮行動計画」の目標達成支援（町田市環境マネジメントシステム(EMS)の職員への普及・啓発等）	①町田市役所の環境に関する取り組みの2023年度実績について、外部評価委員会による評価を行い、その内容をもとに市長総括を行います。市長総括後、省エネ等対策会議に報告し、市全体への共有を行います。 ②町田市第5次環境配慮行動計画及び町田市公共施設脱炭素化推進ガイドラインに基づき、町田市の公共施設における温室効果ガスの排出量の削減に取り組みます。 再生可能エネルギー由来の電力調達の拡大に向けて、施設所管課をサポートします。 ③環境負荷低減に向けて、職員の環境意識の向上を図るために、庁内向けEMS情報誌「ハスのんだより」を発行し、啓発を行います。 ④グリーン購入をより一層推進するため、物品購入の際にグリーン購入を行うよう職員への啓発を強化します。	①省エネ等対策会議開催回数 ②実施 ③「ハスのんだより」発行回数 ④啓発活動の実施回数	①2回 ②実施 ③4回 ④2回								
3	事務事業見直し	業務・事務のデジタル化	環境省の提供システム「LAPSS（ラップス）」を活用し、市有施設におけるエネルギー使用量の集計を行うことで、データの早期把握・分析を行います。 また、地球温暖化対策報告書や定期報告書・中長期報告書の作成時に本システムを活用することで、事務作業の効率化を図ります。	LAPSS（ラップス）の活用による事務作業の削減時間	36時間								

部課名	環境資源部環境共生課
課の使命	・市民や事業者とともに、まちの美化や生物多様性保全に取り組み、その意識を高めていきます。 ・市内で発生する公害や市民の身近な環境に関する問題を低減し、環境保全のためのルールが守られた清潔、安全、快適なまちをつくります。

実行計画(年度目標)

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
1	個別計画	まちの美化に対する意識向上の推進	ポイ捨て防止や喫煙マナー向上などのまちの美化に対する意識向上の推進のために、市内の各駅周辺での啓発活動やハスのんインスタグラム等での周知を行います。	まちの美化推進啓発活動の回数	30回								
2	個別計画	生物多様性についての普及啓発	市民が生きものに対する関心を高められるよう、生物多様性の大切さを広く市民に普及啓発を行います。 取り組みにあたっては、次世代を担う若い世代に興味を持っていただくことも視野に入れて、普及啓発活動を推進します。	普及啓発活動の回数	5回								
3	－	公共トイレの適正配置	市民がいつでもどこでもトイレを利用できる環境を確保するため、半径500m(徒歩10分)圏に公共トイレの無い空白地域を中心として、トイレが必要な地域に公共トイレ協力店を増やしていきます。	公共トイレ空白地域における2023年度以降公共トイレ協力店新規設置数(累計)	2店 (累計5店)								
4	経営改革プラン	情報発信の充実	市内の環境に関する調査結果や公害に関する情報について、オープンデータでの公表を進め、市民、事業者等が行政データを活用する機会を拡げていきます。	公開データファイル累計件数	2件								
5	事務事業見直し	行政手続きのデジタル化の推進	公害関連法令等に基づく届出・申請について、事業者や市民の負担を軽減するため、オンラインでの手続を推進します。	オンライン申請に対応できる届出種類	4件 (累計18種類)								

部課名	環境資源部ごみ収集課
課の使命	・市民、市民団体及び事業者が、資源とごみを適正に分別し排出できるよう、周知や指導を行います。 ・適正に排出された資源とごみを確実に収集し、資源化や処理を行うための施設等へ安全に運搬します。

実行計画（年度目標）

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
1	個別計画	容器包装プラスチックの市全域収集開始	2026年度からの容器包装プラスチックの市全域収集開始に向け、収集運搬業務委託の契約や市民周知などの準備を実施します。	容器包装プラスチック収集運搬業務委託契約の締結	契約締結完了								
2	－	相談内容の分析と対策	ごみに関する相談内容を分析し、抽出した課題を基に業務改善、市民の利便性向上を図ります。	業務改善または市民の利便向上に係る取組数	4取組								
3	－	車両火災防止策の実施	車両火災防止のため、課内の勉強会や訓練、市民向けの啓発などを実施します。	車両火災防止の取組数	4取組								

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
4	－	交通事故防止策の実施	ごみ収集車の交通事故を起こさないため、安全運転への意識や、運転技術を向上させるための課内啓発、研修、訓練を実施します。	交通事故防止の取組数	6取組								
5	－	パトロールの実施	適正排出指導、集積所管理及び不法投棄の防止と抑止のために、昼間と夜間のパトロールを継続して実施します。	パトロール実施回数	198回								
6	－	「ゼロカーボンシティまちだ」に向けた取組	燃料電池ごみ収集車の将来的な導入に向け、試験利用を実施し、車両性能の体感や導入効果の検証を行います。	試験利用検証結果のまとめ作成	作成								
7	事務事業見直し	委託業務の見直し	各委託業務の見直しを行い、業務の効率化を図ります。	効率化の実施	効率化の実施								
8	事務事業見直し	車両更新計画の見直し	車両更新計画を見直し、管理等の効率化を図ります。	効率化の実施	効率化の実施								

部課名	環境資源部循環型施設管理課
課の使命	・所管施設に搬入されたごみを安全かつ安定的に適正処理します。 ・ごみ処理の過程で発生するエネルギーの効率的な回収とごみの資源化を進め、循環型社会の実現を進めます。 ・施設周辺地域の方が快適に安心して暮らせる環境を守ります。

実行計画(年度目標)

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
1	－	一般廃棄物処理施設の適切な運営・管理	町田市バイオエネルギーセンターの運転状況を日々確認し、運営協議会にて報告します。	①月次報告の確認 ②運営協議会の開催	①12回 ②2回								
2	個別計画・事務事業見直し	処理施設の効率的・効果的な維持管理	①町田市バイオエネルギーセンターの運営モニタリングを適正に行うことで、施設の安定稼働を目指します。 ②リレーセンターみなみの維持管理計画の劣化予測にあわせた修繕を検討します。 ③排水浄化センターの機能縮小に向け概略設計を行います。	①町田市バイオエネルギーセンターの発電量 ②修繕計画の策定 ③概略設計の完了	①計画発電量の90%以上 ②策定完了 ③完了								
3	個別計画・事務事業見直し	資源化の推進	・リレーセンターみなみ機器保守点検委託で発生した廃油を再資源化できる業者へ売払いします。 ・町田市バイオエネルギーセンターに搬入された廃棄物の中から、資源化できるものを検証し、新たな資源化品目を抽出します。	品目数	1品目								
4	重点事業プラン	最終処分場峠谷地区(旧埋立地含む)上部公園の利用に向けた取り組み	最終処分場を安全に閉鎖するため、安全対策工事概略設計を行います。	概略設計の完了	完了								

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
5	－	町田市バイオエネルギーセンターの多面的価値の創出	①施設の多面的価値の創出に向けて、施設を活用したイベントを開催します。 ②災害時に防災拠点として即時に運用できるよう、防災備品を活用した訓練を実施します。	①イベント回数 ②防災備品取扱訓練回数	①4回 ②1回								
6	事務事業見直し	業務の効率化	①組織の課題解決のため、下記の研修を実施します。 ・PPP/PFI事業に関するモニタリングができる職員の育成のため、外部の研修を受講した職員を講師とし、課内の研修を実施します。 ・予算事務に関する課内の研修を実施します。 ②事務事業の見直しとして、駐車場消耗品と駐車場保守点検業務委託の統合を図ります。	①実施した研修回数 ②事業統合数	①2回 ②1事業								
7	－	「ゼロカーボンシティまちだ」に向けた取組	外部施設のうち、町田市が電力会社と電力取引契約を実施している施設において、CO_2排出量ゼロである再生可能エネルギー電力を供給できる業者の電力を使用します。	再生可能エネルギーを使用した電力会社と契約した施設数	3施設								

部課名	環境資源部循環型施設整備課
課の使命	町田市資源循環型施設整備基本計画(2013年4月策定、2023年5月改定)に基づき、循環型社会の構築を目指し、市民との協働で環境負荷の少ない周辺地域に配慮した資源循環型施設整備を進めます。

実行計画(年度目標)

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
1	重点事業プラン	熱回収施設等整備工事に係るストックヤード棟及び緑の広場の整備	熱回収施設等整備工事に係るストックヤード棟及び緑の広場整備は、周辺環境への配慮や地域住民へ適宜情報提供を行いながら進めます。 ①ストックヤード棟及び緑の広場完成までの工事進捗管理 ②東京都環境影響評価条例に基づく環境調査の実施	①工事進捗率 ②調査実施	①100% ②完了(2024年度分)								
2	重点事業プラン	相原地区における資源ごみ処理施設の整備	施設整備用地の取得が完了した後、市民との協働で、周辺地域に配慮した環境負荷の少ない資源ごみ処理施設の整備を進めます。 ①事業者の選定 ②地区連絡会の開催	①事業者の選定状況 ②開催回数	①事業者選定方法の決定 ②1回/年								
3	重点事業プラン	上小山田地区における資源ごみ処理施設の整備	市民との協働で、周辺地域に配慮した環境負荷の少ない資源ごみ処理施設等の検討を進めます。 ①建設地の再検討 ②地区連絡会の開催	①建設地の検討状況 ②開催回数	①建設地決定 ②1回/年								
4	-	事業の進捗状況の情報提供	ごみの資源化施設整備事業の進捗状況を広報紙にて情報提供します。 熱回収施設等整備工事において、事業者と協働しながら、工事状況のホームページを更新します。 ①ごみ資源化施設建設NEWSの発行 ②ホームページの更新	①発行回数 ②更新回数 (工事完了まで)	①2回/年 ②6回/年								

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
5	－	「ゼロカーボンシティまちだ」に向けた取組	ノートパソコン等を活用して紙使用量を削減します。	2023年度と比較した紙資料の印刷枚数	5%削減（前年度比）								